

Maronic®

Field Excitation Type 3-way Speaker System
TW1100



励磁型/同軸/同位相/15inch-2wayドライバー DS701と励磁型ショートホーンツイーター T501を搭載した3-wayシステムです。

DS701はウーハーとスクーカーの振動板を同一平面上に配置し、同軸・同位相・タイムアライメントゼロを実現。音のエネルギー感だけでなく、音場空間の形成に優れた能力を発揮するドライバーです。

マクソニック独自のノウハウを駆使したディバイディングネットワークと駆動電源のフィールドエキサイターEX103で構成される励磁型システムが、良好なトランジエント特性・高能率でパワフルな出力特性をもたらし、優れた音場感を形成します。

搭載ドライバーユニット	: DS701 & T501
瞬間最大入力	: 150W
定格入力	: 30W
再生周波数特性	: 25Hz ~ 25000Hz
能率	: 104dB
インピーダンス	: 8Ω
クロスオーバー周波数	: 1.0Khz / 7.0kHz
外形寸法	: 600W×1125H×480D mm
重量	: 110Kg

Field Excitation Type 3-way Speaker System TW1100



【後面開放型 エンクロージャー】

30mm超のPlywood仕様です。
エンクロージャー後面を開放型にすることで、各励磁型ユニットの持つ高効率性や良好なトランジェント性能など、ユニット本来の力量と可能性を最大限発揮させることを実現し、それによって形成される音の調和は、空間全てが歌う様な他に比類のない音場の躍動をもたらします。
後面開放型の特性はスピーカーに最適と言われる平面バツフルと基本的に同様の特性を持ち、ユニット前面と後面の空気圧が等しいため、前面と後面の放射インピーダンスが等価となります。
振動板の駆動・制動に負荷を与えず自由な動きを実現し、微弱な信号への高い感度を実現するのが後面開放型です。

【インシュレーター】

現在はエンクロージャーと同様にPlywoodを使用した三点支持の脚を採用しています。写真の金属製インシュレーターは使われていません。

【ディバイディングネットワーク / DN310】

入力端子盤の奥に配置され、コアボリュームや他のパーツも大きいので、ネットワークだけでも重量感があります。各ユニットの性能を最大限に生かすためマクソニックが培ってきたノウハウがパーツの細部に至るまで凝縮されています。



DS701



T501



EX103

【WOOFER / DS701】

超軽量コーン紙を採用し電磁気制動力に優れた励磁型WOOFERは、音の立ち上がりに抜群のスピード感とキレの良さを発揮し、中高域Driverに後れを取らない優れた低域再生を可能にします。

【SQUAWKER / DS701】

アルミ鋳物製ホーンスクーカーです。
ダイヤフラムはジュラルミン製、内部にThreefoldイコライザーを採用しています。
また、ホーン表面には古美加工と呼ばれる強制酸化被膜処理を施し、ロゴを彫刻しています。

【TWEETER / T501】

削出しアルミ製ショートホーンツイーター。ホーン部のイコライザーはアルミ削出し涙滴型イコライザー。
ダイヤフラム側は砲金製ダイキャストThreefoldイコライザー。フロントパネル及びホーン・イコライザーは表面に古美加工と呼ばれる強制酸化被膜処理を施しています。

【磁気回路】

いずれのユニットもMaxonicの開発した励磁型磁気回路です。ヨーク・ポールピース等はいずれも水素(H₂)雰囲気中で850°Cのアニーリングを施した鉄削出し品を用い、材質を統一・均一化した単一素材のみで構成されるため、回路内の高透磁率を一定に保ち、刻一刻と変化する音声信号に忠実に感応することが可能です。

【専用励磁電源 / EX103】

励磁型ユニットを駆動させる電源の仕様は非常に重要なファクターです。マクソニックは日本で開発された唯一の半導体SITのダイオード版であるSIDを整流素子に採用。励磁型の持つ優れた制動力を最大限に発揮させます。